

明神 太郎 さん テスト分析レポート

中学3年生

英語

2017年5月 1学期中間考査

77 / 100点

得点率

77%

学校の採点区分 理解 50/64 表現 17/25 言語知識 10/11

目 全体所見

今回の英語（1学期中間考査）は77/100点でした。内訳は、語形変化や語彙を問う「言語知識」が10/11点、読解と文法を問う「理解」が50/64点、英文を自分で書く「表現」が17/25点です。不規則動詞の変化や複数形といった単語レベルの知識はほぼ完璧で、整序英作文や書き換えなど、形が示されている設問も安定して得点できています。失点が集まったのは、日本語をもとに英文をゼロから組み立てる場面です。使う単語も構文も正しく選んでいるのに、冠詞や to の抜け、動詞の形の作り違いといった「あと一手」で減点されている解答が並びました。

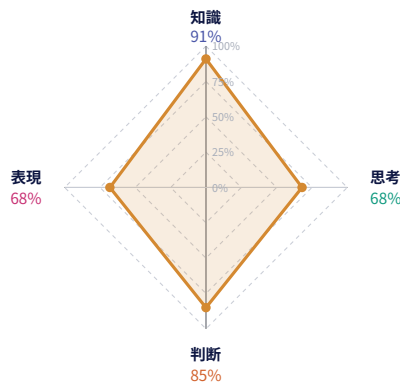
答案から見た傾向

- 01 大問【4】【5】の言語知識は10/11点。ate・drank・found などの不規則動詞、brother・Japanese・children といった語形変化を、ほぼ取りこぼしなく答えられています。
- 02 整序英作文や書き換え（大問【6】～【8】）は大半が正解しています。受け身・現在完了・比較といった中2～中3の構文そのものは、しっかり身につけています。
- 03 失点は英作文（大問【12】【13】）に集中しています。the most difficult の the 抜け、wanted to live の to 抜け、has been angryed、When are you visit Australia? など、語の選択は合っているのに形が整いきっていない誤りが並びました。

明神 太郎 さん 2017年5月 1学期中間考査（英語）

4観点の得点率

「重点」の2観点を下段で解説しています



● 知識	91%	
● 思考	68%	重点
● 判断	85%	
● 表現	68%	重点

観点別アドバイス

表現 今回の重点

英作文で、語の選択は合っているのに形が整いきらず減点された解答が並びました。the の抜け、to の抜け、angry に不要な -ed。いずれも知識ではなく見直しの問題です。英文を書き終えたら、動詞の形だけを追って一度読み返す。この30秒を毎回はさむところから始めます。

思考 今回の重点

文法・語法の設問（判断85%）に比べ、長文の内容を読み取って答える設問（思考68%）が伸びていません。形が示されていれば正しく選べる一方、英文全体から意味を追う場面で精度が落ちます。長文は段落ごとに一言、日本語で要約を書き込みながら読む練習が効きます。

学習アドバイス

全体として77点。単語レベルの「知識」が91%、文法・語法の「判断」が85%と、答えの形が示されている設問では非常に安定しています。一方、長文から意味を汲み取る「思考」と、英文をゼロから書く「表現」がともに68%。答えが「与えられている」設問から「自分で作る」設問へ移るところで、得点率がはっきり一段落ちます。構文も単語も持っているのに使い切れていない状態で、伸びしろが具体的に見えている点数です。

太郎さんへ

不規則動詞も受け身も現在完了も、しっかり使っていました。英作文でも、伝えたい内容は毎回きちんと英語になっています。あとは書き終えたあとに一度だけ読み返すこと。その習慣を、一緒につけていきましょう。